

2024 年 9 月 27 日

The Emerging Markets Weekly

中国の景気刺激策が新興国通貨の支えに

新興国市場:先週末 20 日のアジア時間の新興国通貨はまちまち。IDR や CNY が上昇した一方、KRW は軟調。欧米時間、米金利上昇が重しとなるも、ユーロの反発に連れて東欧通貨は小幅に上昇した。他方、中南米通貨は値を下げた。BRL は前日比▲1.6%下落、片や ZAR は堅調となった。週初 23 日、アジア時間は方向感なく推移。PHP の下落が目立った。欧米時間、仏、独とユーロ圏の 9 月 PMI が市場予想を下振れ、ユーロに連れて東欧通貨は下落。米 9 月 PMI はまちまちな結果となり、米金利は一時上昇するも FRB 高官の発言を受けて低下に転じた。中南米通貨は大半が軟調。BRL が下落。一方、ZAR は買われた。24 日のアジア時間は中国人民銀行 (PBoC) による金融緩和措置などが好感され総じて上昇。MYR が前日比+1.1%値を伸ばした。欧米時間、米 9 月消費者信頼感指数が市場予想を下回ると、米金利低下、ドル安となった。BRL は前日比+1.5%上昇した。25 日アジア時間、中国の景気刺激策が支えとなり大半が上昇。MYR や PHP が買われた。欧米時間、米経済指標の良好な結果を受けて全面ドル高となり新興国通貨は反落。MXN が前日比▲1.6%下落した。26 日のアジア時間は引き続き中国の景気刺激策への期待が支えとなった。KRW が前日比+1.4%値を伸ばすも IDR は軟調。欧米時間、米経済指標は大崩れがなかったもののドルの上昇は限定的。新興国通貨は概ね上昇。商品市況の堅調が資源国通貨の支えとなり、BRL や ZAR が値を伸ばした。

アジア:PBoC は 20 日、ローンプライムレート(1 年物 3.35%、5 年物 3.85%)をそれぞれ据え置いた。また、PBoC は 24 日に追加の景気刺激策を発表した。主な内容は、①預金準備率を▲50bp 引き下げ、年内に▲25~50bp の追加利下げや LPR の引き下げを示唆、②不動産支援として、既存の住宅ローン金利と 2 件目の住宅購入時の頭金比率下限を 25%から 15%に引き下げ、③株式市場支援として、証券会社やファンド、保険会社が株式購入の際に PBoC から流動性を引き出せるようスワップ制度を設けると発表した。加えて、25 日には 1 年物の中期貸出ファシリティ(MLF)を従来の 2.30%から 2.00%に引き下げており、一連の決定は今週の中国為替市場や株式市場を下支えした。一方 ASEAN 諸国では、20 日発表のマレーシア 8 月消費者物価指数(CPI)は前年比+1.9%と前月から鈍化し、市場予想を下振れた。同日公表のシンガポール 8 月 CPI は前年比+2.2%と前月から鈍化するも、市場予想を上回った。フィリピン中央銀行(BSP)のレモロナ総裁は 25 日、8 月に続き 10 月と 12 月の会合においても政策金利を▲25bp 引き下げることが可能と発言した。

ラテンアメリカ:ブラジル中央銀行(BCB)のネット総裁は 24 日、将来の金融引き締ペースを示すフォワードガイダンスを公表しないことを決定したと述べた。メキシコ中央銀行(Banxico)は 26 日に政策金利を▲25bp 引き下げ、10.50%にすることを決定。利下げは 2 会合連続となった。

金融市場部
シニアマーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

マーケット・エコノミスト
長谷川 久悟
03-3242-7065
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

大島 由喜
03-3242-7065
yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

欧州資金部
シニア為替ストラテジスト
中島 将行
masayuki.nakajima@mizuhoemea.com

市場概観(台湾)

9 月金融政策会合～不動産価格上昇を警戒し、預金準備率引き上げを継続

金融市場部
シニアマーケット・エコノミスト
堀 堯大
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

台湾中央銀行(CBC)は 19 日、金融政策会合を開催し、政策金利(ディスカウントレート)を据え置き、2.00%とした(図表 1)。政策金利の据え置きは 2 会合連続での決定。また、本会合では前回 6 月会合に続き、2 会合連続で預金準備率を+25bp 引き上げることを決定。なお、ブルームバーグの事前予想では現状維持が優勢だった。

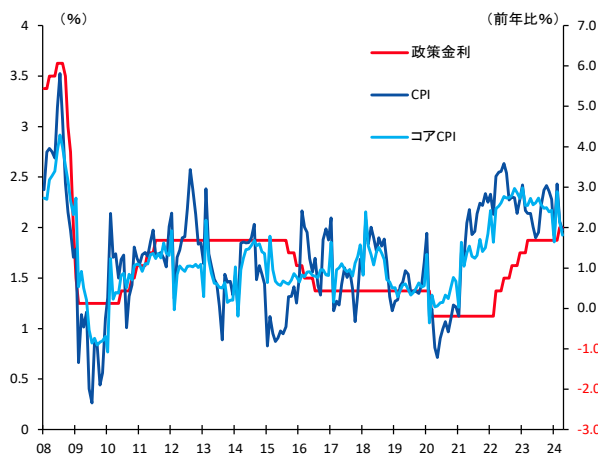
声明文では世界経済について、製造業・非製造業の景況感はまちまちながら緩やかに成長を続ける一方、インフレは段階的ながら減速基調にあると総括。先行きの世界経済は、FRB が利下げを開始したことに触れつつ、米国以外にも今後の日欧や中国の金融政策動向、米国の大統領選挙などにも影響されるとした。国内経済については、前回会合に続き、AI関連産業や先端部門における世界的な半導体需要の持ち直しが台湾の輸出にとって大きな追い風となっている点に言及(図表 2)。直近の 24 年 4～6 月期の実質 GDP 成長率は前年同期比+5.1%と前四半期の同+6.6%から鈍化したものの、堅調さを保った(図表 3)。内需の鈍化や純輸出の寄与度がマイナスに転じたものの、先述の通り輸出実績は大崩れなく、設備投資をはじめ投資の伸びが下支えした格好となった。CBC は先行きの見通しについて、AI 関連の半導体に関する需要は今後も続くとの見方を維持しており、輸出が経済成長のドライバーとなるとした。下半期にかけては徐々に数字が弱くなっていく見込みだが、賃金上昇が個人消費を下支えすることも期待され、24 年の実質 GDP 成長率は前年比+3.8%を見込んでいる。

物価動向について、直近の 8 月消費者物価指数(CPI)は前年比+2.4%、エネルギー・野菜・果物を除いたコア CPI は同+1.8%と+2%近辺で推移している(図表 4)。CBC は食料品や生活必需品のインフレ継続に言及しつつ、24 年のインフレ見通しを前年比+2.16%と+0.04%ポイント引き上げたが、その引き上げ幅を見ても概ね CBC の想定通りの動きをしていると言える。一方で、住宅価格の上昇については、警戒を解いておらず、前回 6 月会合に続いて預金準備率を引き上げることで銀行融資を抑制し、住宅市況の加熱を防いでいく方針を示した。この他にも不動産投機を抑制する観点から都市部を中心に第 2 住宅の貸付比率を引き下げる方針を示している。前回会合からの比較ではインフレの大勢に変化は出ていないものの、総合インフレについては過去の水準を上回る状況が続く以上、積極的なハト派傾斜が肯定される状況とは言えない。この点も今回の政策決定の材料となったと思われる。なお、25 年のインフレ見通しは同+1.89%と+2%を下回る見込みである。

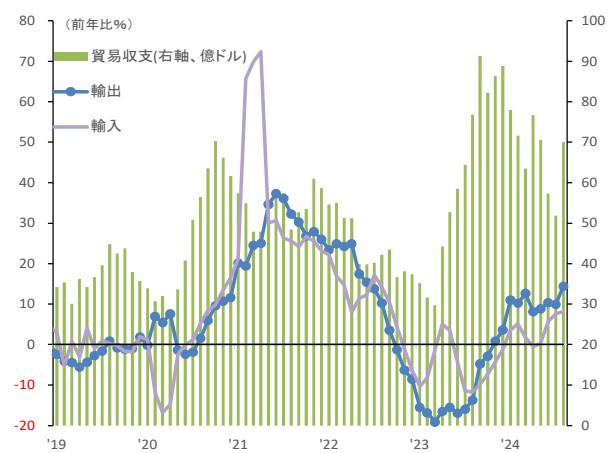
FRB の利下げ決定を受けて、今後 CBC も政策転換を検討する段階に入ると考えられるが、楊 CBC 総裁は現在の政策金利が 16 年ぶりの水準にあるも世界的に見れば高くはないと述べており、利下げについては慎重な姿勢を維持している。また声明文記載の通り、米大統領選の結果をより注視している印象がある。民主党は台湾との関係性を維持・強化する指針を示していることから、やはりトランプ氏の再選可能性を意識したものと考えられ、12 月会合においてはより踏み込んだ発言が見られるかもしれない。

CBC 会合後の TWD の反応は限定的も、FRB の利下げが TWD を含め新興国通貨の支援材料となっている。足許にかけては、CNY の方向感に追従する中で通貨安

圧力は後退しており、今後も米国の利下げが継続し、堅調な貿易黒字を計上することが出来るのであれば大崩れはないと考えている(図表 6)。一方で、先述の米大統領選を受けた台湾情勢の動向や中国経済の悪化のほか、世界の半導体市況の急激な冷え込みといった外的要因の変化には注意を払いたい。

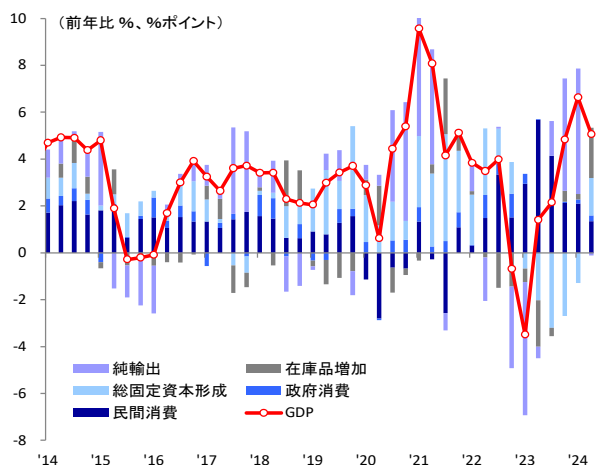
図表 1: 政策金利とインフレ率


出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 2: 貿易収支の動向


出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

※後方 3 か月移動平均を用いて算出

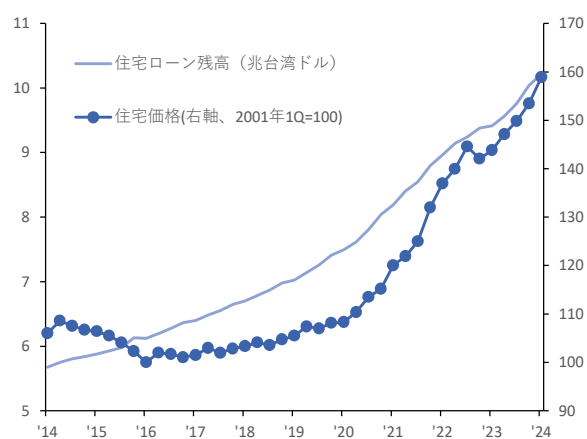
図表 3: 実質 GDP 成長率の推移(前年比%、%ポイント)


出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 消費者物価指数の推移

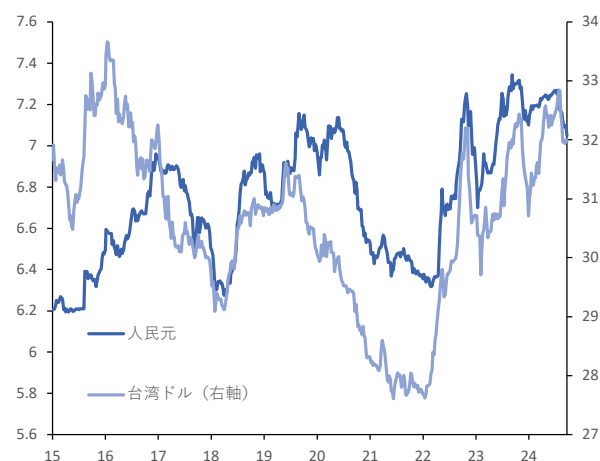

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 5: 住宅価格と住宅ローン残高



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 6: TWD と人民元の動向 (対ドル)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

市場概観(メキシコ)

Banxico は連続利下げを実施

金融市場部
マーケット・エコノミスト
長谷川 久悟
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

メキシコ中央銀行(Banxico)は 26 日、金融政策決定会合を開催し、政策金利(翌日物金利)を▲25bp 引き下げ、10.50%にすることを決定した(図表 1)。決定は多数決で、ヒース副総裁が政策金利の据え置きを主張した。利下げは、前回 8 月会合に続き 2 会合連続。前回会合の声明文では、「物価を巡る環境により、政策金利の調整を議論できる可能性がある」と利下げ継続を示唆しており、事前の情報発信とも整合的だ。

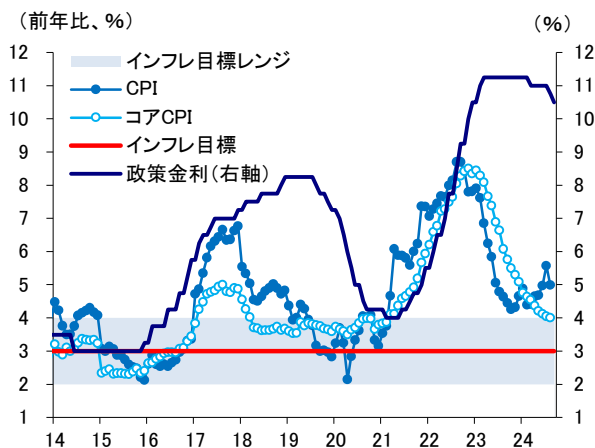
懸案のインフレ動向について Banxico は、総合ベースの伸びの強さとコアの鈍化継続の双方を強調した。物価動向に関し、24 日に公表された 9 月前半の消費者物価指数(CPI)は、+4.66%(前年比、以下同様)と市場予想の+4.71%および前回の+4.83%を下回った(図表 2)。ただし、総合ベースでは、Banxico の目標レンジ(前年比+3%±1%)への収斂は未達だ。また、コアベース(+4.01%→+3.95%)はここ数か月+4.0%近傍で落ち着いた推移をしている。ただ、コアサービスは+5.0%を上回る伸びを続けており、賃金インフレは収まっていはいない。かかる中、Banxico はインフレ見通しを若干下方修正した。具体的には、総合ベースでは 2024 年 7~9 月期から 10~12 月期にかけて、コアベースでは 2024 年 10~12 月期から 2025 年 1~3 月期にかけての見通しを下方修正している(図表 3、4)。もっともその幅はいずれも▲0.1%ポイントであり、微調整の範囲内だ。加えて総合ベースのインフレ率が目標近傍に達する時期に関しても、2025 年 10~12 月期と不変だった。見通しのリスクバランスも上方へ傾いている旨の判断に変化はなかったが、今回会合からは「パンデミックとウクライナ戦争によって引き起こされた重大なショックの後、インフレ見通しは改善している」との文言が追加された。インフレリスクに対する警戒は若干後退したようだ。

以上、Banxico は連続利下げを決定した。先々の決定に関し声明文では、「Looking ahead, the Board “expects” that the inflationary environment “will” allow “further reference rate adjustments”(理事会は今後、インフレ環境がさらなる基準金利の調整を可能にすると予想している)」と利下げの継続を示唆した。前回会合でも似たようなフォワードガイダンスがあったが、若干の変更がなされている。まず、「foresees」が「expects」に、「may」が「will」にそれぞれ変わっている。如何にも中銀文学的だが、いずれも利下げ路線に対する自信が深まっていることを示唆する。さらに、前回は「discussing reference rate adjustments」だった箇所が「further reference rate adjustments」に変わっている。これまでは単に「利下げの議論」にコミットしていたのに対し、今後は「利下げそのもの」にコミットする、ということだろう。以上の情報発信に加え、PMI 等から経済活動の弱まりが確認できる点、政策金利から 1 年先の期待インフレ率を引いた「短期実質政策金利」が Banxico の想定する「中立実質政策金利」を大きく上回っており、政策金利が過度に「引き締めの」である点、などを考慮に入れば先々の利下げ路線は支持される(図表 5)。来年いっぱいかけ▲25bp ずつの利下げが続くと想定する。2024~25 年末の政策金利予測は、それぞれ 10.00%、8.00%だ。

9 月に入って以降の MXN 相場は、上旬は対ドルで 20 を上抜けて弱含むも、その後は買い戻しが優勢だ(図表 6)。上旬は司法制度改革法案の上下院通過を受け、司法の独立性の喪失および政権による介入の強化が懸念され、売りが優勢だった。そ

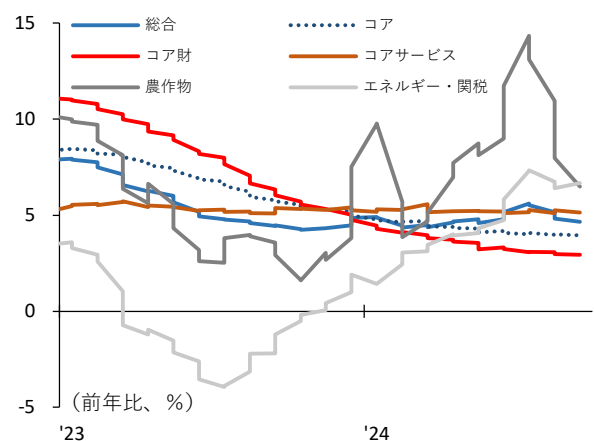
の後は材料出尽くし感や FRB の大幅利下げ(の観測)が支援材料となり、一時 19.1 付近に買い戻された。ただし下旬にかけては、Banxico の利下げ路線が意識され 19.6 付近に再度売られている。かかる状況下、年末にかけての MXN は引き続き買い戻しが優勢とみるが、大幅な MXN 高は想定しない。司法制度改革に関する悲観姿勢は、正式に法制化がなされたことで逆に材料出尽くし感が鮮明で、短期的には MXN 相場の波乱材料にはなりにくい。直接投資の潮流の変化などを通じて中長期的に MXN 相場に影響を与えるだろうが、これは別の機会に論じたい。IMM 通貨先物のポジションを見る限り、7 月以降の金融市場の混乱を受け MXN のネット・ポジションは足許でほぼ中立化している(図表 7)。米国経済の軟着陸や FRB による「予防的」な利下げを前提とした場合、依然高水準の政策金利を誇る MXN は、比較的選好されやすい。リスク要因は米大統領選挙だが、所謂「トリプルレッド」の生起確率は 7 月上旬以降有意に下がっており、トランプ氏の当選を見込んだトレードは落ち着いている(図表 8)。もしトランプ氏が当選した場合、よりメキシコにとっては逆風になる政策が打ち出される可能性が高まり、MXN の重しになるろう。

図表 1: 政策金利とインフレ率



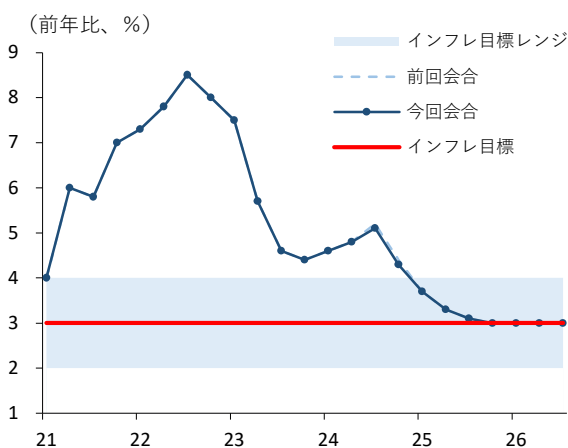
出所: Bloomberg、みずほ銀行

図表 2: 隔週 CPI の推移



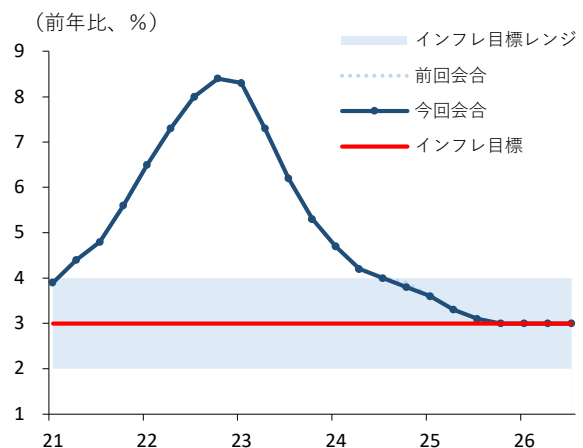
出所: Bloomberg、みずほ銀行

図表 3: Banxico の CPI 見通し(総合ベース)



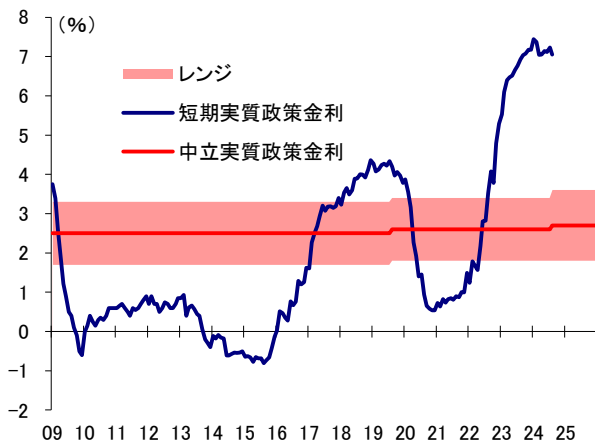
出所: Macrobond、みずほ銀行

図表 4: Banxico の CPI 見通し(コアベース)



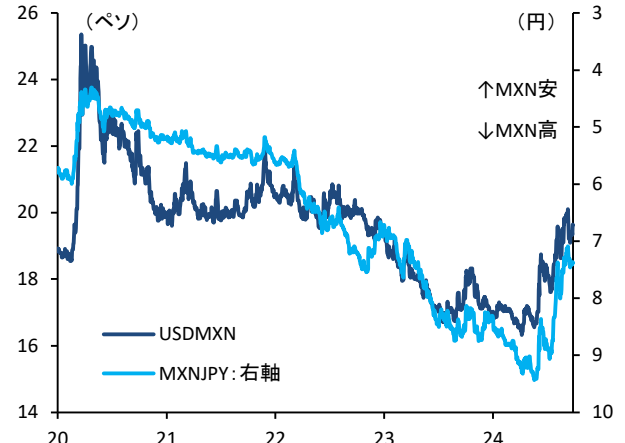
出所: Macrobond、みずほ銀行

図表 5: Banxico の想定する中立実質政策金利



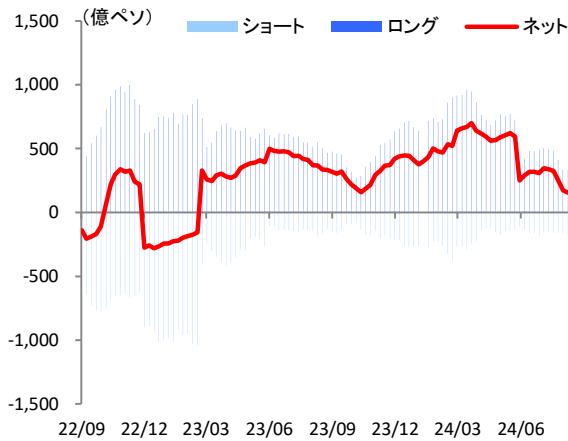
出所: Macrobond、みずほ銀行

図表 6: MXN 相場



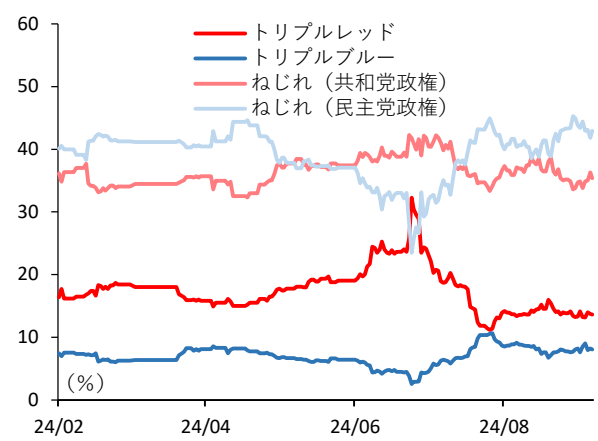
出所: Bloomberg、みずほ銀行

図表 7: IMM 通貨先物のポジション (MXN)



出所: CFTC、Bloomberg、みずほ銀行 ※Non-Commercial

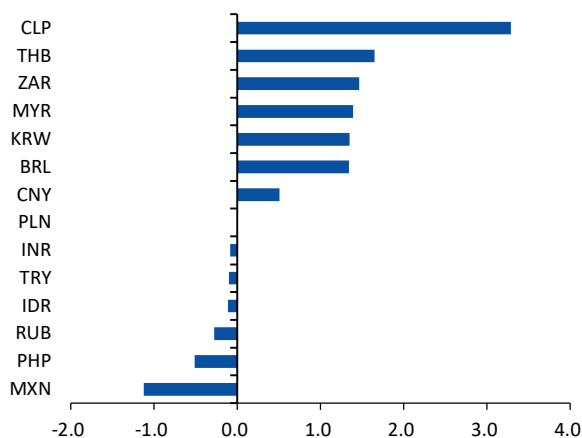
図表 8: 米大統領選挙、大統領と議会の組み合わせ予測



出所: Bloomberg、みずほ銀行 ※「ねじれ」には、上下院の支配政党と大統領所属政党が異なるケースも含めた

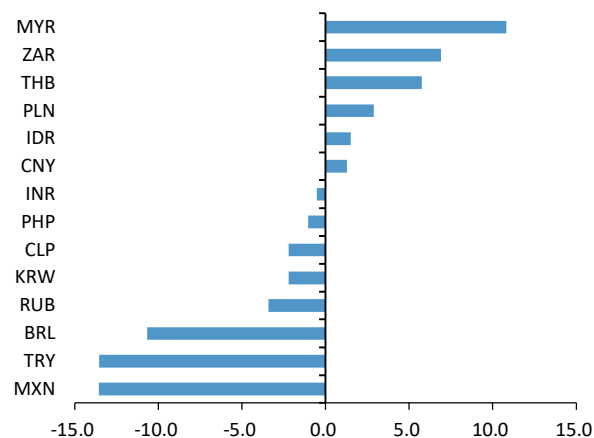
資産別騰落率

為替週間騰落率(対ドル、%)



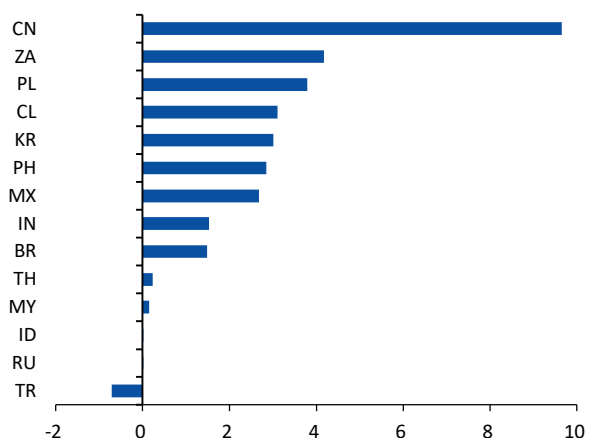
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

為替年初来騰落率(対ドル、%)



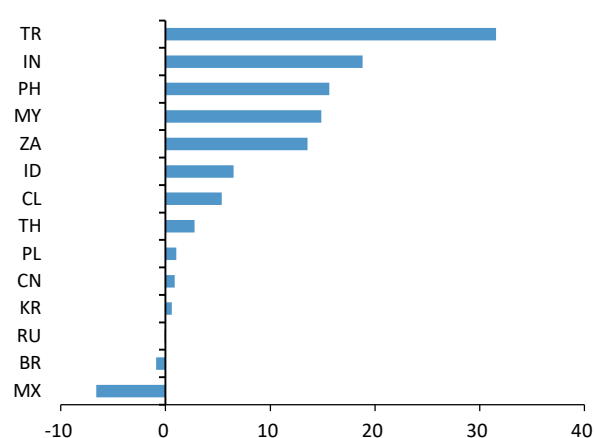
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株価週間騰落率(%)



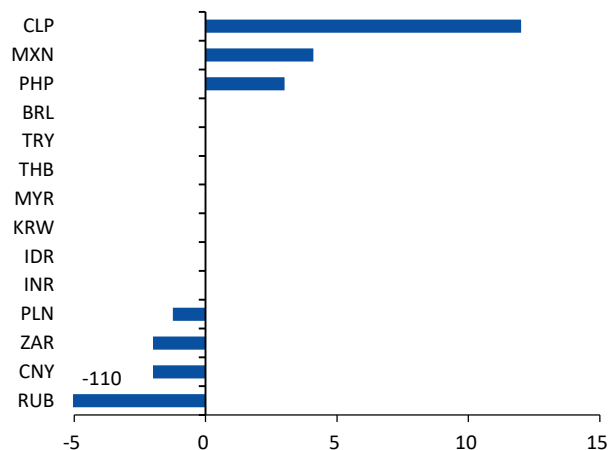
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株価年初来騰落率(%)



出所: ブルームバーク、みずほ銀行

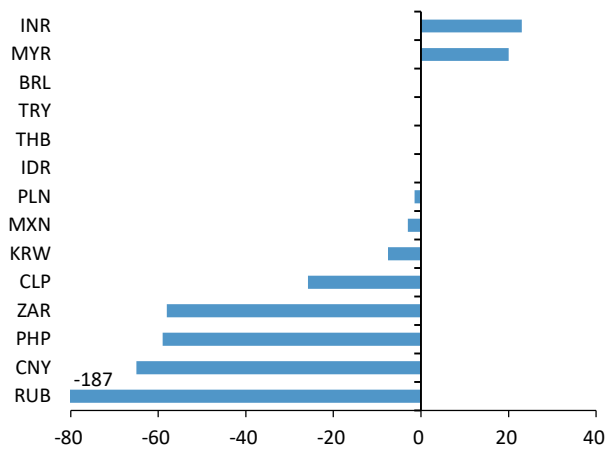
5 年物スワップレート週間変化(bp)



注: データの都合によりタイ、ブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーク、みずほ銀行

5 年物スワップレート年初来変化(bp)

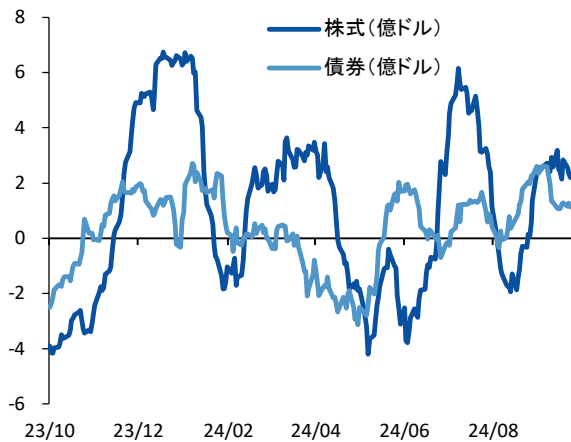


注: データの都合によりタイ、ブラジルの値は未掲載。

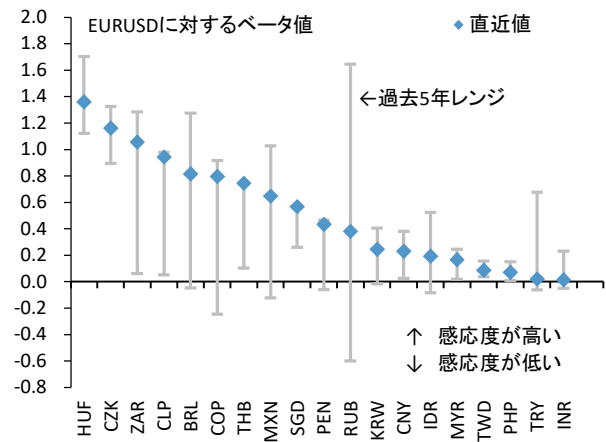
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

チャート集

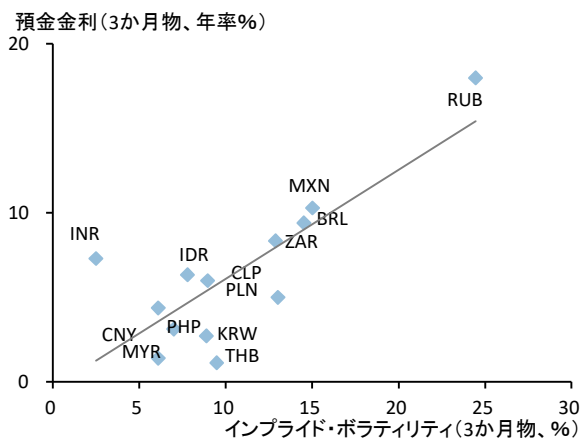
主要新興国への証券投資(4 週間移動平均)



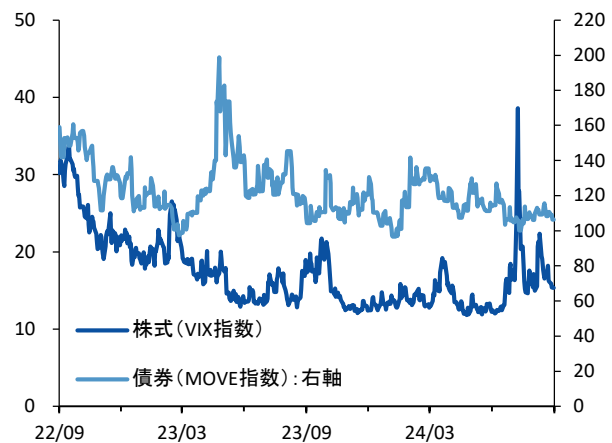
EM 通貨(対ドル)の EURUSD に対する感応度(過去 12 か月)



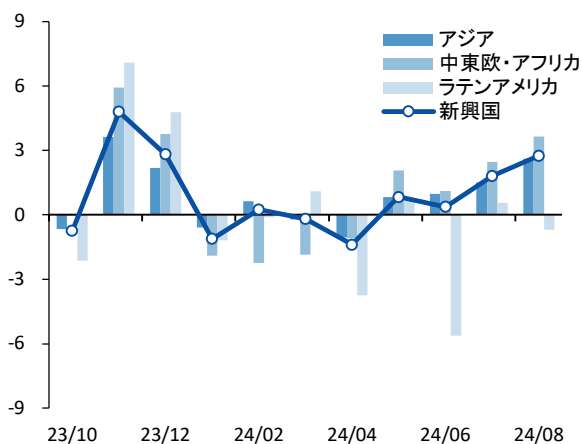
新興国の預金金利と為替ボラティリティ



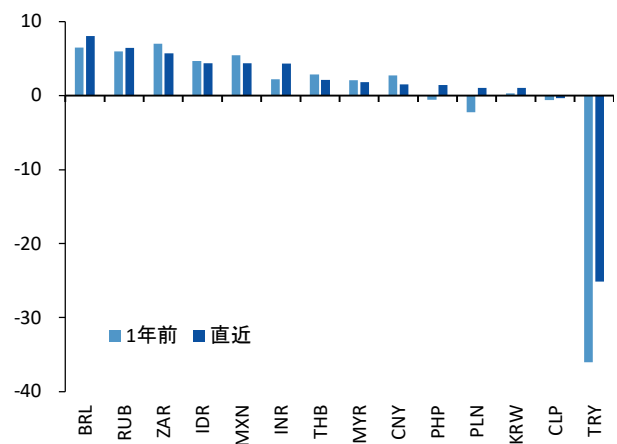
株式と債券のボラティリティ(VIX 指数、MOVE 指数)



新興国現地通貨建て国債月次パフォーマンス(%)



実質金利(10 年物国債金利 - 消費者物価上昇率、%)



新興国経済カレンダー

日付	国	経済指標・イベント	市場予想	発表値	前回値	修正値
エマージングアジア						
9月23日 (月)	マレーシア	CPI(前年比)	2.0%	1.9%	2.0%	--
23日 (月)	シンガポール	CPI(前年比)	2.1%	2.2%	2.4%	--
24日 (火)	韓国	PPI 前年比	--	1.6%	2.6%	--
24日 (火)	台湾	輸出受注(前年比)	8.2%	9.1%	4.8%	--
25日 (水)	韓国	消費者信頼感	--	100.0	100.8	--
25日 (水)	タイ	貿易収支(通関ベース)	\$0m	\$265m	-\$1370m	--
25日 (水)	フィリピン	財政収支(フィリピンペソ)	--	-54.2b	-28.8b	--
26日 (木)	シンガポール	鉱工業生産(前年比)	8.7%	21.0%	1.8%	2.0%
27日 (金)	韓国	景況判断(製造業)	--	--	73	--
27日 (金)	韓国	景況判断(非製造業)	--	--	71	--
27日 (金)	中国	工業企業利益(前年比)	--	--	4.1%	--
30日 (月)	韓国	鉱工業生産(前年比)	--	--	5.5%	--
30日 (月)	中国	製造業PMI	49.4	--	49.1	--
30日 (月)	中国	非製造業PMI	50.1	--	50.3	--
30日 (月)	中国	Caixin中国製造業PMI	50.3	--	50.4	--
30日 (月)	中国	Caixin中国PMIサービス業	51.8	--	51.6	--
30日 (月)	タイ	国際収支:経常収支	--	--	\$270m	--
10月1日 (火)	韓国	貿易収支	--	--	\$3829m	\$3770m
1日 (火)	インドネシア	CPI(前年比)	--	--	2.1%	--
2日 (水)	韓国	CPI(前年比)	--	--	2.0%	--
2日 (水)	シンガポール	購買部景気指数	--	--	50.9	--
4日 (金)	フィリピン	CPI YoY 2018=100	--	--	3.3%	--
4日 (金)	シンガポール	小売売上高(前年比)	--	--	1.0%	--
中東欧・アフリカ						
9月24日 (火)	トルコ	製造業景況感指数(季調前)	--	98.8	98.5	--
24日 (火)	トルコ	設備稼働率	--	74.9%	75.4%	--
26日 (木)	ロシア	鉱工業生産(前年比)	1.8%	2.7%	3.3%	--
26日 (木)	南ア	PPI 前年比	3.5%	2.8%	4.2%	--
27日 (金)	トルコ	貿易収支	-4.90b	--	-7.29b	--
30日 (月)	南ア	貿易収支(ランド)	--	--	17.6b	--
30日 (月)	ロシア	経常収支	--	--	18000m	17000m
10月3日 (木)	ロシア	実質小売売上高(前年比)	--	--	6.1%	--
3日 (木)	ロシア	GDP(前年比)	--	--	4.1%	--
3日 (木)	トルコ	CPI(前年比)	--	--	52.0%	--
3日 (木)	トルコ	PPI 前年比	--	--	35.8%	--
ラテンアメリカ						
9月23日 (月)	メキシコ	小売売上高(前年比)	-0.7%	-0.6%	-3.9%	-3.1%
25日 (水)	ブラジル	経常収支	-\$5000m	-\$6104m	-\$5162m	--
25日 (水)	ブラジル	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	4.3%	4.1%	4.4%	--
26日 (木)	メキシコ	オーバーナイト・レート	10.50%	10.50%	10.75%	--
27日 (金)	ブラジル	FGVインフレIGPM(前年比)	4.4%	--	4.3%	--
27日 (金)	メキシコ	貿易収支	-174.5m	--	-72.0m	--
30日 (月)	ブラジル	純債務対GDP比	--	--	61.9%	--
10月2日 (水)	メキシコ	送金総額	--	--	\$5613.6m	--
2日 (水)	ブラジル	鉱工業生産(前年比)	--	--	6.1%	--
2日 (水)	メキシコ	総設備投資(季調前、前年比)	--	--	-1.3%	--

注: 2024 年 9 月 27 日現在、信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性を全面的に保証するものではありません。
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

為替相場見通し

		2024年 1～8月（実績）	SPOT	2024年 9月	12月	2025年 3月	6月	9月
対ドル								
エマージングアジア								
中国人民元	(CNY)	7.0844 ～ 7.2775	7.0109	7.18	7.20	7.15	7.10	7.05
香港ドル	(HKD)	7.7697 ～ 7.8387	7.7793	7.80	7.80	7.78	7.77	7.76
インドルピー	(INR)	82.646 ～ 83.988	83.643	83.8	84.5	82.2	80.9	80.5
インドネシアルピア	(IDR)	15310 ～ 16478	15165	15680	16350	16200	16000	15800
韓国ウォン	(KRW)	1290.40 ～ 1400.00	1317.64	1320	1330	1310	1290	1270
マレーシアリング	(MYR)	4.3100 ～ 4.8053	4.1458	4.45	4.56	4.52	4.45	4.40
フィリピンペソ	(PHP)	55.300 ～ 58.930	55.969	56.5	58.4	57.8	57.2	56.8
シンガポールドル	(SGD)	1.2999 ～ 1.3670	1.2842	1.31	1.36	1.34	1.33	1.33
台湾ドル	(TWD)	30.663 ～ 32.922	31.879	31.8	32.1	31.8	31.3	30.8
タイバーツ	(THB)	33.86 ～ 37.18	32.39	34.8	36.2	35.3	34.8	34.6
ベトナムドン	(VND)	24260 ～ 25477	24622	25000	25200	24900	24800	24700
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	82.6604 ～ 95.4670	92.6236	91.0	92.0	91.0	90.0	89.0
南アフリカランド	(ZAR)	17.5965 ～ 19.3899	17.1759	17.8	17.7	17.6	17.5	17.4
トルコリラ	(TRY)	29.6646 ～ 34.4898	34.1785	33.5	33.0	32.5	32.0	31.5
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル	(BRL)	4.8314 ～ 5.8551	5.4377	5.55	5.40	5.42	5.45	5.47
メキシコペソ	(MXN)	16.2616 ～ 20.2181	19.6333	19.8	19.4	19.0	18.8	19.0
対円								
エマージングアジア								
中国人民元	(CNY)	19.830 ～ 22.256	20.626	19.78	19.58	19.58	20.00	20.43
香港ドル	(HKD)	18.032 ～ 20.733	18.612	18.21	18.08	17.99	18.28	18.56
インドルピー	(INR)	1.691 ～ 1.939	1.731	1.69	1.67	1.70	1.76	1.79
インドネシアルピア	(100IDR)	0.876 ～ 0.999	0.955	0.906	0.862	0.864	0.888	0.911
韓国ウォン	(100KRW)	10.368 ～ 11.735	10.989	10.76	10.60	10.69	11.01	11.34
マレーシアリング	(MYR)	30.593 ～ 34.507	34.908	31.91	30.92	30.97	31.91	32.73
フィリピンペソ	(PHP)	2.451 ～ 2.776	2.591	2.51	2.41	2.42	2.48	2.54
シンガポールドル	(SGD)	106.65 ～ 120.03	112.81	108.40	103.83	104.87	106.77	108.43
台湾ドル	(TWD)	4.335 ～ 4.976	4.534	4.47	4.39	4.40	4.54	4.68
タイバーツ	(THB)	4.018 ～ 4.465	4.470	4.08	3.90	3.97	4.08	4.16
ベトナムドン	(10000VND)	0.5646 ～ 0.6365	0.5883	0.57	0.56	0.56	0.57	0.58
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	1.552 ～ 1.907	1.564	1.56	1.53	1.54	1.58	1.62
南アフリカランド	(ZAR)	7.588 ～ 8.973	8.432	7.98	7.97	7.95	8.11	8.28
トルコリラ	(TRY)	4.071 ～ 4.978	4.232	4.24	4.27	4.31	4.44	4.57
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル	(BRL)	24.416 ～ 31.200	26.625	25.59	26.11	25.83	26.06	26.33
メキシコペソ	(MXN)	7.087 ～ 9.455	7.376	7.17	7.27	7.37	7.55	7.58

注: 1. 実績の欄は 2024 年 8 月 30 日まで。SPOT は 9 月 27 日の 7 時 00 分頃。

2. 実績値はブルームバーグの値。

3. 予想の欄は四半期末の予想。

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。